【学校教育目標】　自ら学び　心豊かで　たくましい　豊里っ子の育成

題字の「とよさと」は、○年 ○○○○○○さんが書いてくれました

≪めざす児童像≫
【と】友達と仲良くする子
【よ】よく勉強する子
【さ】最後まで頑張る子
【と】とっても元気な子

○年　○○○○さんの作品

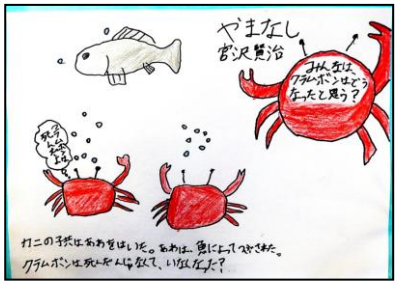
○授業研究会というものがありまして…

保護者の皆様にお知らせすることはあまりないのですが、どこの学校も授業についての研究を行っているものです。教員同士がお互いに授業を参観し、講師にも授業を見ていただき、授業力の向上を目指すもので、先日（11／21）本校でも国語の授業研究を行いました。

４年生は「ごんぎつね」、５年生は「宮沢賢治作品」について学習しましたが、ここでお話ししたいのは、教員のことではなく、子どもたちの授業態度についてです。とても前向きで集中して取り組むことができていて、自分の力を出し切ろうとしていました。自分の精一杯に挑戦する、それは簡単なことのようで、なかなか難しいことです。誇らしいというか、頑張っているなあと素直にほめてあげたい気分でした。

講師の方からもなかなか見られない姿であるとお褒めの言葉をいただきましたが、例えば全国学力状況調査（６年生）や千葉県の標準学力検査（全学年が年度末に国語と算数を行っています）でも本校の子どもたちは恥ずかしくない結果を残しています。それが日ごろの学習の成果であるとすれば、本当に立派なことだと思います。

「ごんぎつね」の作者の新美南吉や宮沢賢治の文学作品を今の子が自然に手に取ることは少ないと思います。両者の作品に触れ合えたことがまずは意義深いことですし、文学は言葉の芸術ですから、言葉の深い意味を感じてくれたのではないかと思いました。



宮沢賢治作「やまなし」の紹介　左から　○年　○○○○さん　○○○○さん　○○○○○さん

☆ 作ろう！ショートショート

４年生が短くて不思議なお話づくりに挑戦しました。構成を工夫しています。図書室で読めるようになっています。

○○○○さん、○○○○さん、→
○○○○さん、○○○○さん

※読書賞

1000Ｐ　○年　○○○○さん　　○年　○○○○さん
2000Ｐ　○年　○○○○さん　　4000Ｐ　○年　○○○○さん
8000Ｐ　○年　○○○○さん　　○○○○さん

※今日の給食　食レポ（11/26）への一言

「ごはん　おろしじる　たまごやき　はるさめやさいいため　みかん」
めずらしく給食にみかんがでたので、みかんをすきな２人に聞きました。

○年　○ ○○○○ ○○○○さん
「わたしはみかんがすきです。おいしいからです。」

○年　○○○○○さん
「わたしはみかんがすきです。あまいのもすっぱいのもあってどきどきするから。」

◆宿泊体験学習（５年）に行ってきました

・○○○○さん　カヌーを友だちと二人でやったのが楽しかった。
・○○○○さん　キャンドルファイヤーのろうそくが折れてこわかったです。
・○○○○さん　バイキングで大盛りにしたのがうれしかったです。